

ただいまが
待ち遠しくなる家

目の前に広がる田園風景、
そして、背後には豊かな森――。
このロケーションを生かすには？
辿り着いた答えは、
2階リビングの家でした。



A_スギ板張りの外壁に、雑木の緑が映える。外壁には、経年変化した木の色を再現したオリジナル塗料を使用。 B・C_1階の子供部屋の上に設けたアウトドアリビングは、避暑地の別荘のよう。ここで食事したり、奥様がエクササイズをしたり。みんなの居場所になっている。

どの窓にも木々の緑
日々の雑踏が遠のく
ここは安息の場所

Wさんご夫婦が求めたのは、暖かくて眺めのいい家。勉強熱心なご主人が地元の仕事場をくまなく調べ、その目に留まったのが、しなのいえ工房でした。「高断熱の家は他にもあるけれど、デザイン性もとなると、他には見つからなくて。見学会で実際に住むオーナーさんの話を聞いて、心が決まりました」

土地選びの最優先事項は、眺望のよさ。どの土地なら、思い描く家が予算内で建つか。ビルダーの視点から、しなのいえ工房がアドバイザーになりました。しなのいえ工房の永井美菜さんによると、「不動産屋さんは、あくまで土地の専門家。私たちは家の予算や大きさ、ご家族のライフプランといった条件と照らし合わせて、第三者的な助言をします」。土地と家を俯瞰できるパートナーがいたら、これほど心

強いことはありません。ご夫婦が選んだのは、設計担当の小嶋健二さんが太鼓判を押したL字型の土地。西には枝葉を重ねた木立と川のせせらぎ、南には見渡す限りの田園風景を望む、風光明媚な立地です。

このロケーションを最大限生かそうと、小嶋さんが提案したのは2階リビング。1階に個室と水周りを集約し、2階はワンフロアのLDKに。どの窓からも、「何を眺めて暮らすかが大事」という同社の揺るぎない哲学が感じ取れます。さらにW邸の2階には、外を眺めるだけでなく、繋がる「アウトドアリビング」も。手を伸ばしたら届きそうな森の息吹を感じて、深呼吸。そんな穏やかで心地よい日常が、当たり前になりました。

ところで、2階リビングの暮らしというのは、実際どうなのでしょう。老後の暮らしを考えて躊躇する気持ちも大きかったという奥様ですが、「小嶋さんがいいというものを信じて、ついて行こうと決めました。2階に生活の拠点があると、正直、面倒なこともあります。でもここにはいつも緑があって、外からの視線を気にすることもない。雑踏から遠く離れて、ホッと息ついて

いるだけで、慌ただしい日常をリセットできる大好きな場所になりました」。

理想の家を手に入れ、ご主人の次なる興味は植物へ。「畑で今年から野菜づくりを始めます。庭の野草も、色々植えて試しているところ。うまく育ってくるといいですね」。外と繋がる暮らしは、こんなところからも始まっています。

「この家に来て、子どもたちが一番変わった！」とご主人。リビングや庭を、思う存分駆け回っている。





M しのいえ工場の永井さん(写真左)とWさんご一家。「家づくりの中で、永井さんや小嶋さんのお人柄にふれ、しのいえ工房をお願いして本当に良かったなって思います。住み始めてからも、永井さんに頼り切ってます」 **N** アウトドアリビングの網戸を開け放せば、森との一体感を存分に味わえる。

寒さ知らずの断熱性能と
スタッフの人柄に惚れ込んで

永井さん お二人は断熱性能にもこだわっていらっしゃいましたよね。

Wさん 前のアパートがすごく寒くて、結露によるカビもひどくて……。 「高断熱の木の家」という条件に当てはまったのが、しのいえ工房だったんです。

永井さん 暖かいことにも根拠がある。説得力のある数値を示すことで、ご納得いただけんじゃないかな。ご主人は技術畑の方だから、なおさら(笑)。

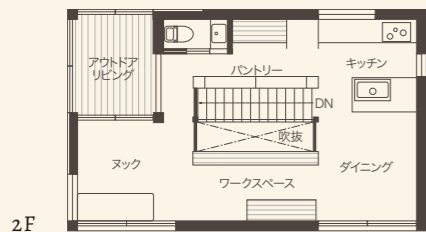
Wさん 住んでみて、さらに納得。家中どこにいても暖かいし、夜も薄着で掛布団1枚だけ。そういう「寒い」って言葉も、言わなくなりましたね。

でも家が完成して、寂しい気持ちもあるんです。永井さんや小嶋さんは、もはや家族みたいに気を許せる存在だから。

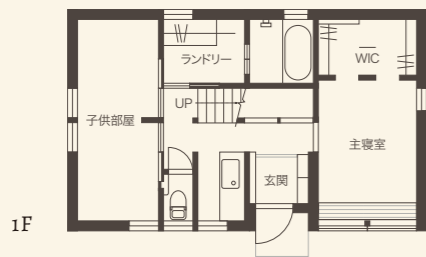
永井さん いやいや、住んでからが本当のお付き合いですよ！

Wさん だと嬉しい！ 我が家の見学会で来てくださるのも楽しみなんです。見学会をダシに永井さんと呼ぶという(笑)。これからも頼りにしています。

PLAN



2F



1F

DATA

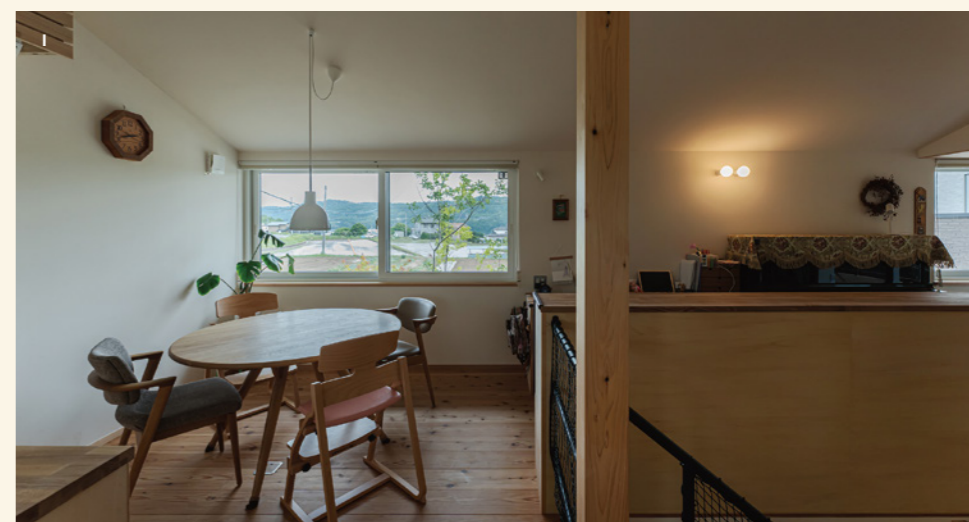
敷地面積	359.55㎡ (108.55坪)
延床面積	89.64㎡ (27.06坪)
1F面積	48.86㎡ (14.75坪)
2F面積	40.78㎡ (12.31坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:ヒノキ3.5寸角、梁:カラマツ、土台:ヒノキ 断熱材/天井:吹き込み用グラスウール400mm、壁:高性能グラスウール105mm+高性能グラスウール105mm、基礎:高性能グラスウール105mm+90mm

主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板立平葺き、外壁:スギ板張り+ノンロット塗装仕上げ 主な内装仕上げ/天井:塗装仕上げ、壁:塗装仕上げ、床:カラマツ無垢材 開口部/樹脂サッシ・トリプルシャノンII×エクセルシャノン キッチン/オリジナル造作キッチン キッチン熱源/ガス バスルーム/タカラスタンダード グランスパ 暖房の種類/エアコン UA値/0.26W/mK



shinanoie.com



E 2階リビングは、階段を中心にぐるりと回遊できる間取りに。壁のように見えるパントリー(写真左)の向こう側が、裏動線になっている。 **F** シンクとコンロを別々のカウンターに設けたセパレートキッチン。写真手前にシンクカウンターを設置し、「家族の顔を見ながら料理がしたい」というお客様の願いを叶えた。 **G** 階段下は、すべて収納スペースに。 **H** アウトドアリビングと、窓を介して繋がるスヌック。あえて天井を低くして、心落ち着く空間に。 **I** シンクカウンターに立つ奥様の目に映るのが、このダイニング。忙しく料理をしていても、お子さんたちの様子が手に取るようにわかる。 **J・K** 取材中には、お子さんたちと奥様の手づくりクッキーが登場。こだわりのキッチンは3人で作業しても広々。 **L** ワークスペースには大容量の本棚。本が好きというご夫婦らしく、絵本や小説、実用書がぎっしり。